

Cyber Initiative Tokyo 2025

サイバーイニシアチブ東京2025

ご協賛のご案内

NIKKEI

NIKKEI BP

Ver.1.1

Cyber Initiative Tokyoの開催目的

2025年、第2次トランプ政権の関税強化施策などにより国際的な緊張が一層増しています。国の外交政策だけでなく、企業としても国際情勢を俯瞰し、国境の無いサイバーリスクに適切に備える経営判断が今まで以上に重要となります。

技術的に見てもサイバーリスクは増す一方です。多くの企業で生成AIの利活用は不可欠となっていますが、ランサムウェア攻撃や偽情報の生成など悪意を持った活動も生成AIによって高度化します。経営におけるサイバーリスクはますます増大していると言えるでしょう。

さらに国内では大阪・関西万博の開催で、大型イベントに対するサイバー攻撃のリスクに備えることも急務です。これらのリスクに対抗するためのサイバーセキュリティの専門人材の不足は継続的な課題となっています。

Cyber Initiative Tokyoでは産官学での連携強化のために、国内外のセキュリティー分野の有識者を招き、経営や政策、法制度、技術などに関してオープンな議論を展開してまいりました。本年もこの会議開催を通じ、企業経営層や政府関係者との情報共有を促進します。議論の内容は日本語と英語でオンライン配信。サイバーセキュリティの最新トピックスを海外に向けても強力に発信してまいります。

何卒本企画書をご高覧の上、ご賢察賜りますようよろしくお願い申し上げます。

謹白

2025年

日本経済新聞社／日経BP



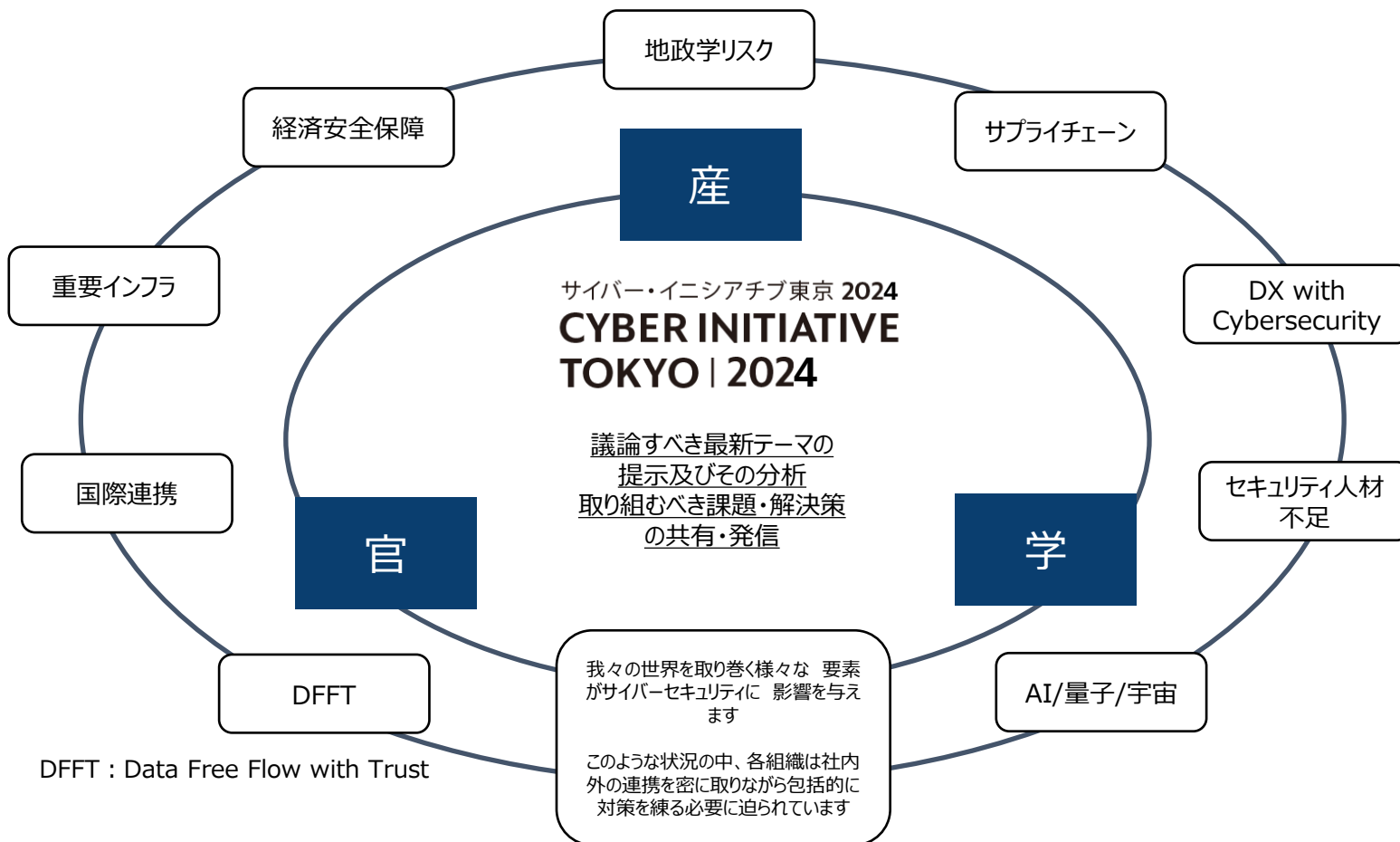
AI時代を構成するデジタルデータ、パーソナルデバイスからデータセンターまでのAIシステム、光とともに発展するネットワーク、そして、それを支える電力グリッド。こうした新しい構成のサイバー空間が企業と生活のライフラインになりました。CIT2025は、このようなサイバー社会のリーディング・ステイクホルダーが集結し日本の役割と責任を議論します。

サイバーイニシアチブ東京 ステアリングコミッティ座長 村井純
慶應義塾大学特別特区特任教授

Cyber Initiative Tokyoの開催目的

我々は産官学が一体となって様々な脅威に対する対応策を討議していくことが今後ますます重要になると考えています。

Cyber Initiative Tokyoでは各界の有識者が内外から集い、様々な専門的見地から対応すべき問題について議論を深めます。



この場にご参加いただくことで、各界の専門家とのネットワークを構築できます。サイバーセキュリティに関する知見や取り組みを発信いただくことでブランド力の向上やリードジェネレーションにつながります

Cyber Initiative Tokyo 2025 開催概要

- 主催:日本経済新聞社、日経BP
- 協力（予定）:一般社団法人 日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会
慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート
- 開催日:2025年12月2日(火)・3日(水)
- 開催形態:全セッションオンライン配信(状況に応じて一部聴講者招待)
- 配信会場:日経ホール
- 聴講料:無料
- 参加者想定数:4,000名

Cyber Initiative Tokyo 2025の3つの特色

1

産学官のトップが参画する「ステアリングコミッティー」でのプログラム策定による質の高い参加者の獲得

サイバーセキュリティ分野の産学官のトップが参画する「ステアリングコミッティー」にてプログラム内容や企画を行います。ステアリングコミッティーにはゴールド以上の協賛企業様も参加頂けます。



2

海外からの登壇者招聘や海外向けに配信も行うグローバルイベント

日経グループのネットワークを活かして海外の政府機関や企業トップも登壇者として招聘します。また、海外向けに英語による配信も行っており、海外からの視聴者数が凡そ半数を占めております。



3

日経グループ媒体でのプロモーションとメディア露出

日経グループの関連媒体を中心にプロモーションを実施いたします。また、会期後にはレビュー記事の掲載も行うことで、購読者へのPRにも繋がります。

日本経済新聞



1

産学官のトップが参画する「ステアリングコミッティー」でのプログラム策定による質の高い参加者の獲得



サイバーセキュリティ分野の産学官のトップが参画する「ステアリングコミッティー」にてプログラム内容や企画を行います。

ステアリングコミッティーにはゴールド以上の協賛企業様も参加頂けます。

Cyber Initiative Tokyoの特色 1 ステアリングコミッティ

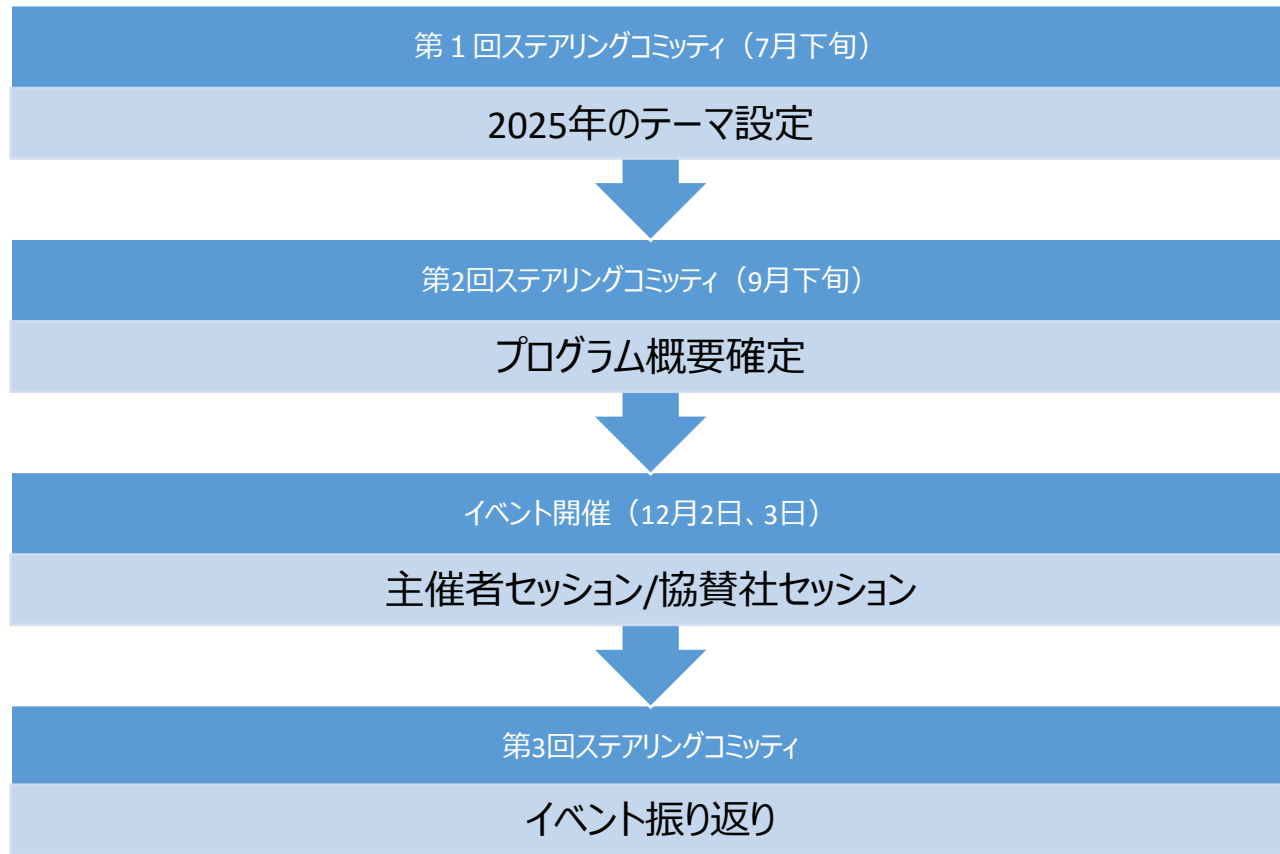
会の開催前より産官学の代表者によるステアリングコミッティを開催。プログラムの策定や議論の方向性などを事前に協議することを通じ、当日の議論が目指すビジョンを共有いたします。ゴールドスポンサー以上のご協賛でご要望あればステアリングコミッティに参加いただき、有識者間でのネットワークを構築いただくことが可能です。参加可能な人数に限りがございますので詳しくはご相談ください。

2025開催 ステアリングコミッティ 主要メンバー

氏名	所属・役職
村井 純	慶應義塾大学 教授
山内 智生	総務省 サイバーセキュリティ統括官
斉田 幸雄	外務省 大臣官房サイバーセキュリティ・情報化参事官
奥家 敏和	経済産業省 大臣官房審議官（商務情報政策局担当）
家護谷 昌徳	防衛省 サイバーセキュリティ・情報化審議官
阿部 文彦	警察庁 長官官房審議官（サイバー警察局担当）
井幡晃三	デジタル庁 サイバーセキュリティ・情報化審議官
坂 明	（公財）公共政策調査会 専務理事
三角 育生	東海大学 情報通信学部長 教授
中溝 和孝	NISC 内閣サイバーセキュリティセンター 副センター長 内閣審議官
梶浦 敏範	日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会 代表理事

Cyber Initiative Tokyoの特色 1 ステアリングコミッティ

開催前に2回、開催後に1回の合計3回のステアリングコミッティ実施をします。テーマ設計から、プログラム概要の設定までコミッティメンバーからの意見を募り、ディスカッションし会を作り上げます。イベント実施後には翌年に向けた振り返り、改善提案を募りより良いイベントを作り上げます。



前回 Cyber Initiative Tokyo 2024 開催概要（プログラム）

主催者企画では以下のような登壇者に講演いただきました。

Day1 11月26日

9:30-9:50

オープニングセッション



村井 純
慶應義塾大学 教授

10:00-10:50

パネルディスカッション

国際緊張下のサイバー戦略と国際・官民連携の行方

国際緊張が高まる中で、各国・地域がそれぞれのサイバー戦略をアップデートしています。日本では内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）の体制が強化され、能動的サイバー防御の議論も進行中です。本セッションでは、最新の各地域のサイバー戦略を踏まえ、国際連携や官民連携のあるべき姿を探ります。



飯田 陽一
内閣サイバーセキュリティセンター
内閣審議官（内閣サイバーセキュリティセンターセンター長代理）



マイケル・ダニエル
元大統領特別補佐官
Cyber Threat Alliance プレジデント兼CEO



コンラッド・プリンス
英サイバーセキュリティ元大使
BAEシステムズ 上級顧問



モデレーター

大澤 淳
中曽根平和研主任研究員
笹川平和財団上席フェロー

前回 Cyber Initiative Tokyo 2024 開催概要 (プログラム)

主催者企画では以下のような登壇者に講演いただきました。

Day1 11月26日

11:00-11:30

Googleセッション

AI時代のセキュリティに対するGoogleのアプローチ



シェーン・ハントリー
Google
CTO, Google Threat Intelligence

12:45-13:05

スペシャルスピーチ1



平 将明
デジタル大臣
サイバー安全保障担当大臣

スペシャルスピーチ2



中谷 元
防衛大臣

スペシャルスピーチ3



藤井 比早之
外務副大臣

前回 Cyber Initiative Tokyo 2024 開催概要（プログラム）

主催者企画では以下のような登壇者に講演いただきました。

Day1 11月26日

13:55-14:45

パネルディスカッション

生成AIがもたらす脅威と対策

生成AIは多くのメリットをもたらす同時に様々なリスクも伴います。例えば、誤情報生成、著作権の侵害、人権・倫理問題、サイバー犯罪への悪用などが挙げられます。今年5月、生成AIを使いランサムウェアを作成したとして、警視庁が20代の男を逮捕したのは記憶に新しいところです。生成AIの導入・活用に伴うサイバー空間におけるリスクとその対応策について議論します。



榊原 彰

パナソニック コネクト
シニア・ヴァイス・プレジデント
デーフテクノロジーオフィサー



平本 健二

AIセーフティ・インスティテュート
副所長・事務局長



岡田 淳

森・濱田松本法律事務所
パートナー弁護士



モデレーター

山内 智生

総務省
サイバーセキュリティ統括官
（最高情報セキュリティ責任者）

15:35-16:25

パネルディスカッション

先端技術に伴うサイバーリスクへの備え

先端技術の進化によって得られるメリットと、同時に生じるリスクと対策を議論します。生成AIの広がりで一段と注目を集める半導体領域や量子通信といった先端テクノロジーが社会に与えるインパクトと、サイバーセキュリティの観点からのリスクについて議論します。



浜島 雅彦

SEMIジャパン
代表



藤原 幹生

国立研究開発法人情報通信研究機構
量子ICT協創センター 研究センター長



モデレーター

内山 純一郎

Google Japan
サイバーセキュリティ研究拠点 拠点長

前回 Cyber Initiative Tokyo 2024 開催概要（プログラム）

主催者企画では以下のような登壇者に講演いただきました。

Day1 11月26日

16:35-17:25

パネルディスカッション

製品・サービスのリスク管理のあるべき姿

近年、SBOM（Software Bill of Materials）の利用によるリスク管理の義務付けが広がり、IoT（Internet of Things）機器のセキュリティ適合性評価制度などが始まるなど、一段と「安全なもののづくり」への要求が高まっています。本セッションでは、安全な製品やサービス開発に向けてあるべき姿と直面する課題について議論します。



下川 美代子

増化成形コムズ
技術本部 iDX商品開発部 部長/リードエキスパート



伊藤 公祐

重要生活機器連携セキュリティ協議会 フェロー
GMOサイバーセキュリティ byイデアエ
グローバル戦略本部 部長



古田 朋司

日本自動車工業会 総会政策委員会
ICT部会 サイバーセキュリティ分科会 会長



モデレーター

奥家 敏和

経済産業省
大臣官房審議官（商務情報政策局担当）

17:35-18:00

パネルディスカッション

迫る欧州のサイバー規制、企業はどう対応すべきか

欧州ではサイバーレジリエンスアクトやNIS2といった包括的かつ幅広い業種が対象になるセキュリティ関連法が成立しました。欧州でビジネスをする日本企業も準備が必要で、違反には巨額の制裁金や欧州市場での販売停止など極めて大きいリスクが降りかかります。企業が進めるべき対策を専門家と共に考察します。



シュテファン・ツィメルマン

ドイツ機械工業連盟 (VDMA)
産業セキュリティ・コンピテンツ・センター長



マーク・エイブリー

CISO & マネージングパートナー
サイバーチェン・アライアンス



モデレーター

寺岡 篤志

日本経済新聞社
編集局 社会・調査報道ユニット記者

前回 Cyber Initiative Tokyo 2024 開催概要（プログラム）

主催者企画では以下のような登壇者に講演いただきました。

Day2 11月27日

09:30-10:20

パネルディスカッション

信頼できる社会を構築するための情報発信と流通

正しい行動のために正しい情報は欠かせませんが、現実的には偽情報の氾濫により正しく行動することが難しくなっています。さらに違法な情報拡散によって、社会の混乱や分断、不信が生まれています。一方、国際交渉の場面では信頼性の担保のため「データセキュリティ」という新しい軸が生まれ、国内でも対応が進んでいます。本セッションでは、グローバルな動向を踏まえ情報流通のあるべき姿を議論します。



目黒 麻生子
デジタル庁
国際データ戦略・国際担当企画官



クロサカ タツヤ
慶應義塾大学大学院
政策・メディア研究科 特任准教授
ジョージタウン大学 客員研究員



モデレーター
三角 育生
東海大学
情報通信学部 教授

10:30-11:20

パネルディスカッション

CISOが2025年に優先すべきこと

クラウド活用の進展、生成AIの登場など技術革新が加速する一方で、日々新たな脅威が生まれており、サイバーレジリエンス戦略の比重が高まっています。こうした中、ビジネスリーダーとIT・セキュリティ担当者の橋渡し役としてCISO（最高セキュリティ責任者）の役割が増えています。サイバーレジリエンスを高めるために必要な戦略は何か、セキュリティ人材の育成や組織文化の醸成をどう進めるかなど、CISOやその役割を担うリーダーが今後優先すべき事項や注力すべき分野について議論します。



新田 哲
JFEスチール
常務執行役員



辻 裕里
SUBARU
執行役員 CIO IT戦略本部長



成田 敏博
日清食品ホールディングス
執行役員CIO



モデレーター
梶浦 敏範
日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会
代表理事

前回 Cyber Initiative Tokyo 2024 開催概要（プログラム）

主催者企画では以下のような登壇者に講演いただきました。

Day2 11月27日

11:30-12:00

スペシャル対談

英国政府通信本部前長官に聞く、新たな脅威に対するサイバー防御のあり方

サイバー安全保障上の脅威が急速に増大していることから、日本政府・与党は、2025年1月召集の通常国会に、サイバー攻撃の恐れがある場合に脅威を未然に排除する「能動的サイバー防御」を導入するための法案を提出予定です。本セッションでは、能動的サイバー防御の核心であるサイバー防御におけるインテリジェンスの役割、データ収集に関する倫理的課題、そして高度なサイバーセキュリティ人材の育成・確保のあり方について、英国政府通信本部（GCHQ）の元長官、ジェレミー・フレミング卿とともに議論。国際的な脅威が高まる中で、国家のサイバーセキュリティを強化するための貴重な視点を提供します。



ジェレミー・フレミング卿
英政府通信本部（GCHQ）前長官
JP Advisory LTD会長



モデレーター
土屋 大洋
慶應義塾大学 教授

13:00-13:45

スペシャルスピーチ1



アン・ノイバーガー
国家安全保障会議（NSC）
大統領副補佐官
サイバー・先端技術担当

スペシャルスピーチ2



武藤 容治
経済産業大臣

スペシャルスピーチ3



竹内 芳明
総務省国際次官

スペシャルスピーチ4



コンラッド・プリンス
英サイバーセキュリティ元大使
BAEシステムズ 上級顧問

前回 Cyber Initiative Tokyo 2024 開催概要（プログラム）

主催者企画では以下のような登壇者に講演いただきました。

Day2 11月27日

16:10-17:10

パネルディスカッション

インシデント事例から学ぶランサムウェア対応・対策

ランサムウェア攻撃の被害が急増し、その手口も巧妙化しています。被害を受けた企業はデータの暗号化やシステムの停止により業務が止まり、甚大な経済的損失を被ることが少なくありません。攻撃を受けると実際に何が起きるのか、どのようなアクションが必要になるのか、どのような対策をとるべきなのか、インシデントの検証に関わった有識者を招いて議論します。

また、ランサムウェア集団の捜査に注力する欧州刑事警察機構（ユーロポール）の欧州サイバー犯罪センター長から最新動向について講演いただきます。



エドバルダス・シレリス
ユーロポール
欧州サイバー犯罪センター
センター長



北尾 辰也
国土交通省 最高情報セキュリティアドバイザー
日本シーサート協議会 専門委員



森井 昌克
神戸大学
名誉教授



金井 孝三
S k y
ICTソリューション事業部 執行役員



モザレーター
阿部 文彦
官報庁
長官官房審議官（サイバー警察局担当）

17:20-17:40

クロージングセッション



伊藤 権一
株式会社デジタルリーグ 共同創業者 取締役
学校法人千代田工業大学 学長
経済同友会 企業のDX推進委員会 委員長

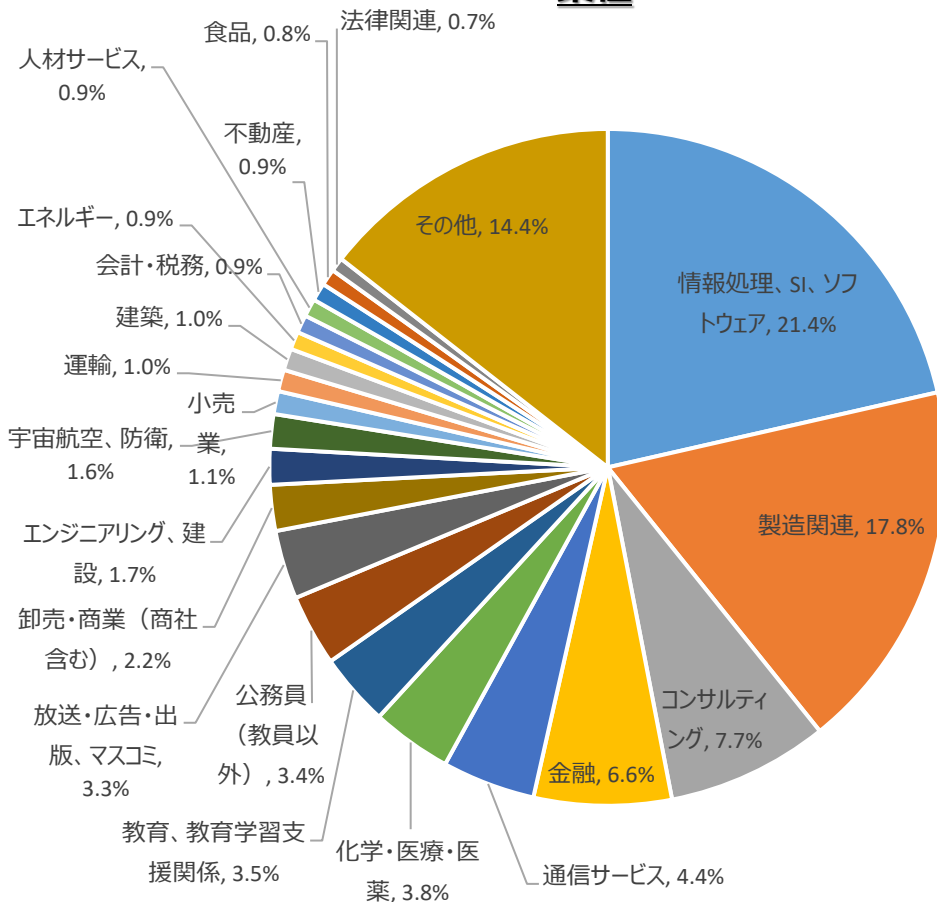


モザレーター
村井 純
慶應義塾大学 教授

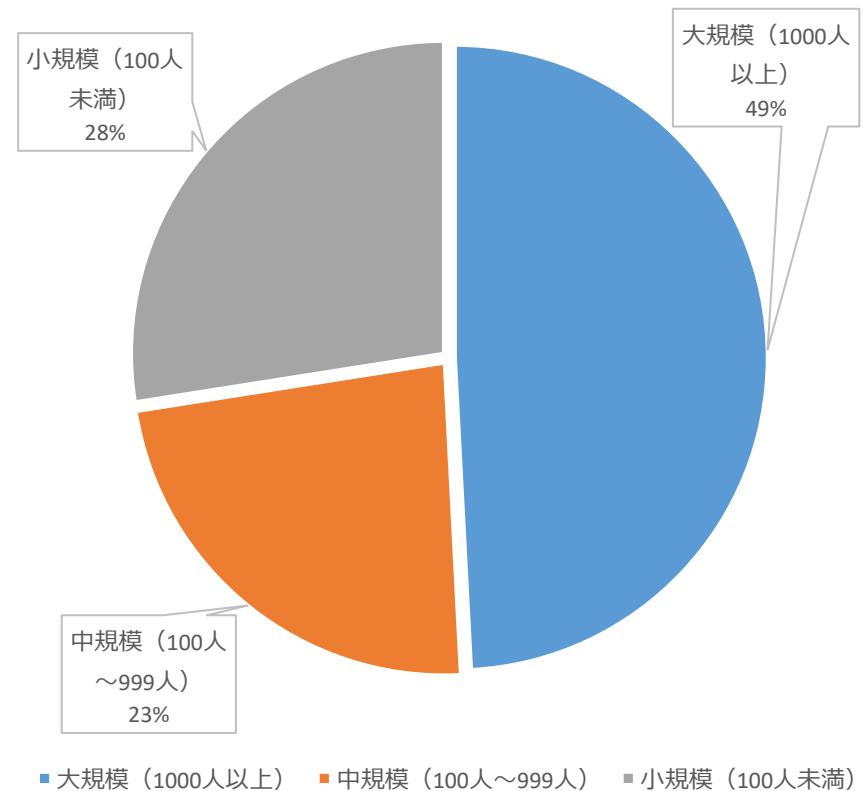
前回 Cyber Initiative Tokyo 2024 登録者属性

従業員規模1000名以上の所謂**大企業**からの参加が約5割を占め、
製造業、コンサルティング、金融など幅広い業界からの参加を集めました。

業種



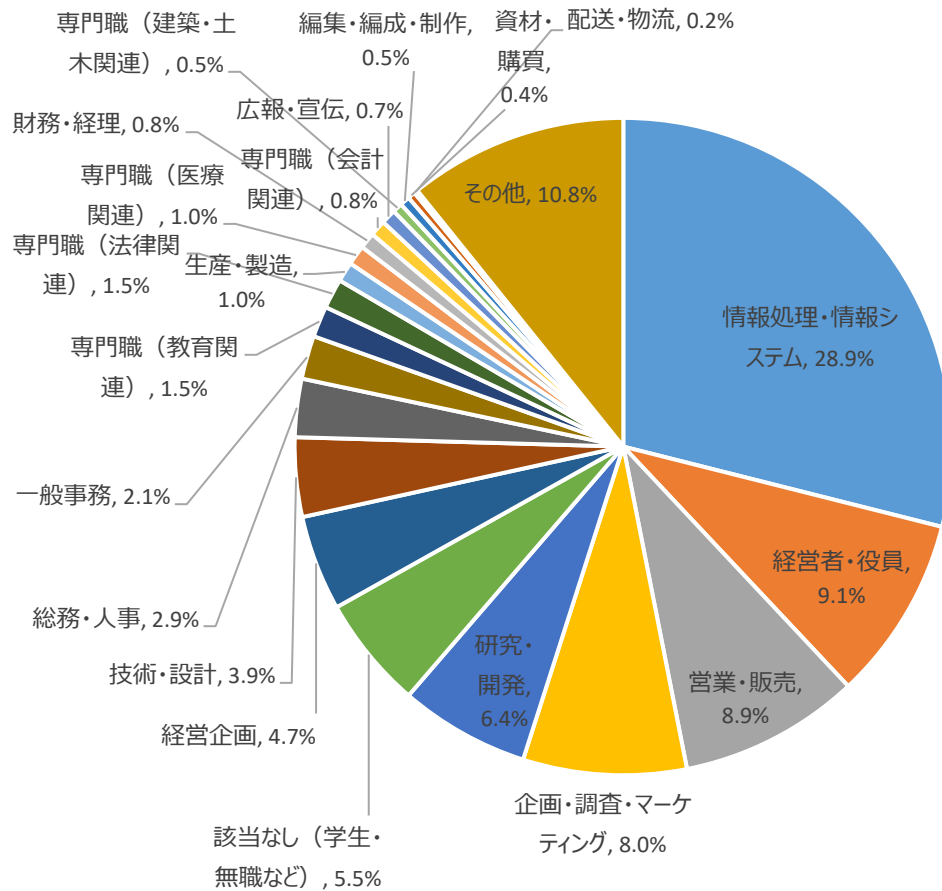
会社規模(従業員数)



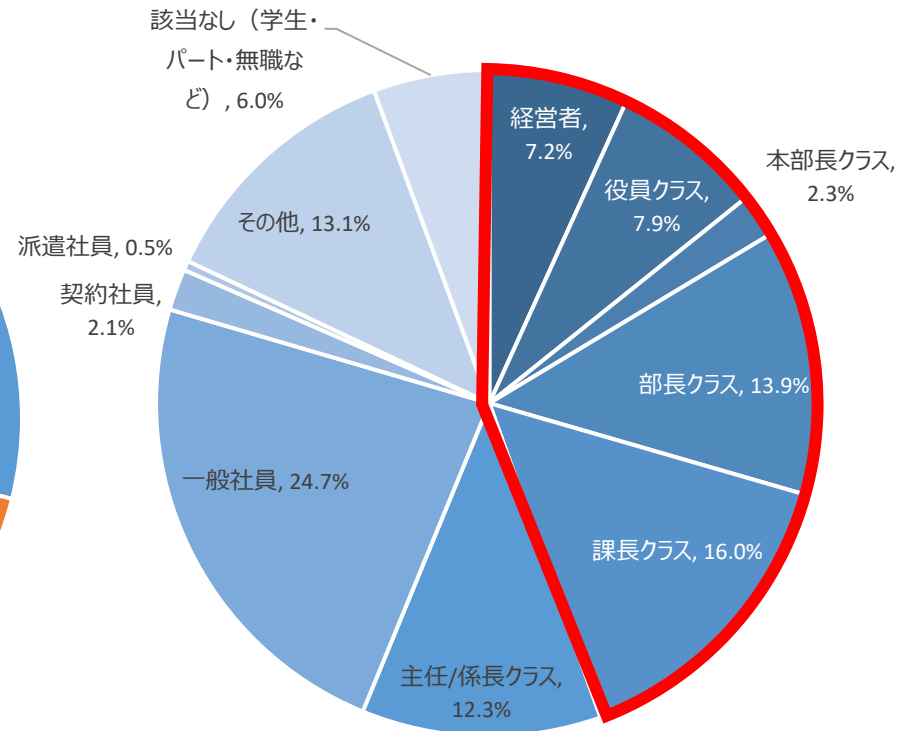
前回 Cyber Initiative Tokyo 2024 登録者属性

約半数が課長以上の役職者です。

職種



役職



2

海外からの登壇者招聘や海外向けに配信も行うグローバルイベント



日経グループのネットワークを活かして海外の政府機関や企業トップも登壇者として招聘します。

また、海外向けに英語による配信も行っており、海外からの視聴者数が凡そ半数を占めております。

前回 Cyber Initiative Tokyo 2024 開催概要

◇開催日：2024年11月26日（火）、27日（水）

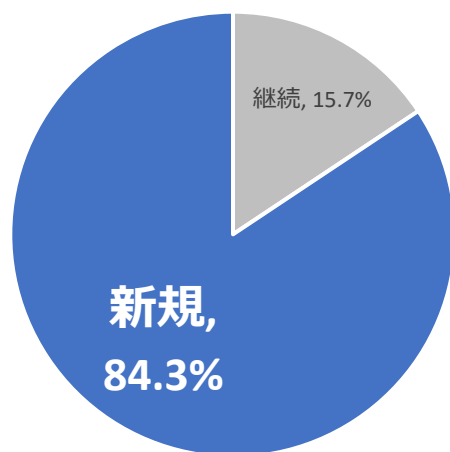
◇全編オンライン配信

◇主催：日本経済新聞社、日経BP

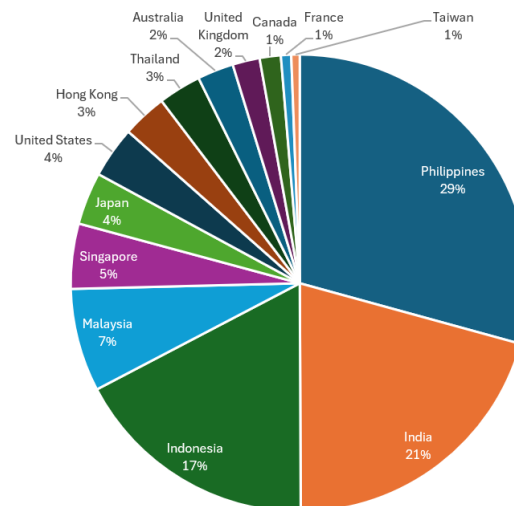
事前登録者数	
国内	1,712名
国外	2,692名
合計	4,404名

視聴数	
Day 1	2,690UD
Day 2	2,181UD

◇国内登録者 継続参加割合



◇国外登録者 国・地域



3

日経グループ媒体でのプロモーションとメディア露出



日経グループの関連媒体を中心にプロモーションを実施いたします。

また、会期後にはレビュー記事の掲載も行うことで、購読者へのPRにも繋がります。

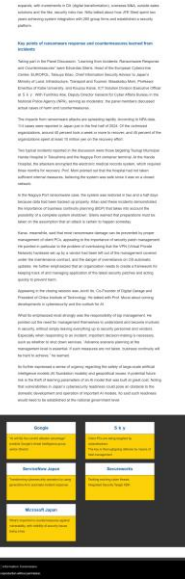
Cyber Initiative Tokyo2025の特色3 日経グループ媒体でのプロモーションとメディア露出

日本を代表する経済論壇である日本経済新聞・日経ビジネスのほか、国際発信力を有するメディア「Nikkei Asia」にそれぞれ掲載。
国内外のオピニオンリーダーに多角的かつ重層的に訴求致します。

日本経済新聞



NIKKEI Asia



2025年1月16日付 日経朝刊

2025年3月公開

日経ビジネス



2025年2月3日号 日経ビジネス



Cyber Initiative Tokyo2025

ご協賛について

Cyber Initiative Tokyo 2025 スポンサー特典

※ご講演内容に関しては、ステアリングコミッティおよび事務局協議のうえ決定いたします。

ダイヤモンド・スポンサー

- 本会議セッションでの単独ご講演枠（45分）をご提供いたします
- 本会議パネルディスカッションに協賛社関係者1名のご登壇が可能です（※1）
- Cyber Initiative Tokyo2025ステアリングコミッティへのご参加（※2）
- 登壇者や関係者が参加する招待制のレセプションパーティーへのご参加

プラチナ・スポンサー

- 本会議セッションでの単独ご講演枠（45分）をご提供いたします
- Cyber Initiative Tokyo2025ステアリングコミッティへのご参加（※2）
- 登壇者や関係者が参加する招待制のレセプションパーティーへのご参加

ゴールド・スポンサー

- 分科会セッションでのご講演（30分）をご提供いたします
- Cyber Initiative Tokyo2025ステアリングコミッティへのご参加（※2）
- 登壇者や関係者が参加する招待制のレセプションパーティーへのご参加

シルバー・スポンサー

- 本会議セッションでの単独ご講演枠（30分）をご提供いたします
- Cyber Initiative Tokyo2025ステアリングコミッティへのオンラインでのオブザーバー参加（聴講のみ）
- 登壇者や関係者が参加する招待制のレセプションパーティーへのご参加

※1ご登壇いただくパネルディスカッションは事務局と調整の上で決定させていただきます。

※2ステアリングコミッティへの参加可能人数には限りがございますので詳しくはご相談ください。



前回配信会場
日経ホール



前回配信会場
日経カンファレンスルーム

Cyber Initiative Tokyo 2025 タイムテーブル案

Day1		
時間	プログラム	
9:30	開場	
10:00 – 10:30	オープニングセッション	
10:30 – 11:15	主催者セッション①	
11:20 – 11:50	特別講演	
11:50 – 12:50	休憩	
12:50 – 13:35	プラチナスポンサーセッション①	
13:40 – 14:25	主催者セッション②	
14:25 – 14:35	休憩	
14:35 – 15:05	ゴールドスポンサーセッション①	シルバースポンサーセッション①
15:10 – 15:40	ゴールドスポンサーセッション②	シルバースポンサーセッション②
15:45 – 16:15	ゴールドスポンサーセッション③	シルバースポンサーセッション③
16:20 – 17:05	主催者セッション③	
17:10 – 17:55	ダイヤモンドスポンサーセッション①	

Day2		
時間	プログラム	
9:30	開場	
10:00 – 10:45	主催者セッション④	
10:50 – 11:35	主催者セッション⑤	
11:40 – 12:40	スポンサーセッション	
12:40 – 13:10	休憩	
13:10 – 13:40	特別講演	
13:45 – 14:30	ダイヤモンドスポンサーセッション②	
14:30 – 14:40	休憩	
14:40 – 15:10	ゴールドスポンサーセッション④	シルバースポンサーセッション④
15:15 – 15:45	ゴールドスポンサーセッション⑤	シルバースポンサーセッション⑤
15:50 – 16:35	プラチナスポンサーセッション②	
16:40 – 17:10	特別講演	
17:15 – 18:00	主催者セッション⑥	
18:05 – 18:15	クロージングリマーク	
18:15	終了	

Cyber Initiative Tokyo 2025 ご協賛パッケージ

協賛メニュー		カテゴリー			
		ダイヤモンド	プラチナ	ゴールド	シルバー
		20,000,000	12,000,000	6,000,000	4,500,000
告知	日本経済新聞告知での社名記載	●	●	—	—
	HPでの社名・ロゴ記載	●	●	●	●
	日経お知らせメールでの社名記載	●	●	●	●
ステアリング コミッティ	開催前2回・開催後1回の合計3回実施予定のステアリングコミッティへのご参加（※1）	●	●	●	—
	ステアリングコミッティへのオンラインでのオブザーバー参加（聴講のみ）	—	—	—	●
本会議	タイトルスライド等への社名・ロゴ掲出	●	●	●	●
	プログラムへの社名・ロゴ記載	●	●	●	●
	セッション間での動画素材放映（15秒素材）	●	●	●	—
	本会議での単独ご講演（45分）	●	●	—	—
	本会議パネルディスカッションへのご登壇（1名）（※2）	●	—	—	—
	分科会セッション（30分）でのご講演	—	—	●	●
	登壇者や関係者が参加する「レセプションパーティー」へのご参加	●	●	●	●
	国内受講申込者一般来場者のリード提供（許諾が取れているもののみ）	●	●	●	●
採録	日本経済新聞 採録特集での全5段4色広告の掲載（※3）	●	—	—	—
	日本経済新聞 採録特集での全5段モノクロ広告の掲載（※3）	—	●	—	—
	日本経済新聞 採録特集での社名・ロゴの掲出（モノクロ）	—	—	●	●
	日経ビジネス内特集での社名・ロゴ掲出	●	●	●	●
	日経ビジネス内特集でのレビュー掲載	●	●	●	—
	日経ビジネス電子版での社名・ロゴ掲出	●	●	●	●
	日経ビジネス電子版でのレビューの掲載	●	●	●	—
	Nikkei Asia 広告特集（デジタル版）での社名・ロゴ掲出	●	●	●	●
	Nikkei Asia 広告特集（デジタル版）での英文レビュー掲載	●	●	●	—

※1ステアリングコミッティへの参加可能人数には限りがございますので詳しくはご相談ください。

※2ご登壇いただくパネルディスカッションは事務局と調整の上で決定させていただきます。

※3申し込み多数の場合、特集外の紙面での掲載となる場合もございます。

本プロジェクトの協賛費の一部をNikkei Asiaの購読ID費用に充当し、日本やアジアの学生向けに一定期間、IDを無料提供いたします。

スポンサー企業である協賛企業名を、学生・生徒への購読ID提供の案内メールに記載するため、**将来を担う若者に向けたブランディング効果**が得られます。



お茶の水女子大学での説明会

【ID提供の流れ】



※購読ID提供の対象となる学生は、学部や専攻等を考慮して日経が選択いたします。

①単独講演のコンテンツ制作サポート

ゴールドスポンサー以上の協賛をご検討いただいている企業様が、「どのような講演内容にすれば聴衆に刺さるのかわからない」といったお悩みをお持ちの場合、日経・BPが有償でイベントテーマに沿った客観性や社会性を付与し、より注目をあつめるコンテンツ制作をサポートします。また、内容に応じた対談相手の人選をサポートいたします。

価格：2,000,000円（税別）

* お受けできる件数には限りがございますので、あらかじめご了承ください。

②アーカイブス動画編集

Cyber Initiative Tokyoは事後アーカイブス動画を後日、ノーカットで全編ウェブサイトにて公開いたします。このアーカイブス展開をより効果的に活用いただくため、別途料金にて貴社講演部分のダイジェスト版を制作。貴社のSNSやウェブサイトにおいて、二次利用いただき、息長くコンテンツを活用いただくことが可能になるメニューです。講演言語のみのダイジェスト版制作に加え、英語ないし日本語字幕をつけるプランもご用意しております。

制作物：貴社講演のダイジェスト版の編集・制作

* 尺は約3分を想定しておりますが、ご希望に応じて対応させていただきます。

データ形式：mp4（フルHD、ハーフHD）

価格：講演言語プラス英語または日本語字幕 1,000,000円（税別）

講演言語のみ（字幕なし） 500,000円（税別）

前回Cyber Initiative Tokyo 2024 ご協賛企業

ダイヤモンド協賛：



ゴールド協賛：



シルバー協賛：



スケジュール／お問い合わせ

- ・ 協賛申込締切（第一次） : 7月下旬
- ・ 第1回ステアリングコミッティ開催 : 8月上旬
- ・ 協賛申込締切（第二次） : 9月上旬
- ・ 第2回ステアリングコミッティ開催 : 9月下旬
- ・ プログラム確定 : 10月上旬
- ・ 社告掲載/告知サイトオープン : 10月中旬予定
- ・ Cyber Initiative Tokyo2025会期 : 12月2日(火)・3日(水)
- ・ 開催報告掲載 : 2026年1月中旬以降随時
- ・ 第3回ステアリングコミッティ開催 : 2026年2月上旬

日本経済新聞社 グローバル事業 総合営業グループ
御厨直樹・田中裕太
〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
Tel 03-6256-7311 Fax 03-6256-7854
Email naoki.mikuriya@nex.nikkei.com
yuta.tanaka@nex.nikkei.com

日経BP ソリューションビジネス企画部
中根由晴・平野 未菜
〒105-8308 東京都港区虎ノ門4-3-12
Tel 03-6811-8031 Fax 050-3153-7274
Email ynakane@nikkeibp.co.jp
mihirano@nikkeibp.co.jp